

月刊きょうと教育通信

vol. 4 平成14年12月号 発行：京都市教育委員会企画課（222-3768）

起業家精神を体系的に育成

21世紀型教育コンテンツ開発委員会が発足

最新の教育環境を活用し、教育教材の開発を総合的・体系的に行う「21世紀型教育コンテンツ開発委員会」が、12月4日発足します。

これは、人材育成機関・京都ソフトアプリケーション（堀場雅夫代表取締役社長）が、小・中・高校における起業家精神育成に関する調査・研究事業の国からの受託を機に、京都市に設立を提案。榎本頼兼市長の快諾により、産・学・公が一体となって推進するものです。こうした総合的な起業家精神の育成は、全国で初めての取組です。

開発委員会は、経済団体・大学・京都市の関係者で構成。当面、4つのプロジェクトを総括し、京都の未来を担う人材の育成を図ります。

<開発委員会が取り組むプロジェクト>

①**起業家教育教材開発**＝全国の小・中・高校約1,500校を対象に早期起業家精神育成に関する調査を行い、体



発足に先立ち、堀場雅夫社長が、榎本頼兼市長に協力を要請しました

系的な起業家育成カリキュラムを開発。

②**アラン・ケイ教育推進**＝パソコンの父とされるアラン・ケイ博士（アメリカ）の提唱する情報教育を日本の学校で初めて導入、情報化社会に対応する力を育成。

③**一般情報教育推進**＝インターネットを活用し、数学・英語等の遠隔授業を実施。

④**知的所有権教育推進**＝情報化社会の新たな課題である知的所有権についての早期教育を展開。

ご意見・お問合せ＝調査課（222-3772）

京都御池中学校の施設概要まとまる

京都御池中は平成15年度に京都市域中敷地で統合開校、18年度には京都柳池中敷地（写真）に完成の新校舎に移転予定



京都市域中学校、京都柳池中学校の2校を、15年4月、京都御池中学校に統合しますが、18年4月に開設する新校舎等の概要が、このたびまとまりました。校舎・グラウンドの面積を最大限確保するとともに、敷地の有効活用や、都心部の活性化を図るため、保育所、老人デイサービスセンターやオフィススペース、商業施設等の賑わい施設等を複合化します。事業手法については、PFIの可否を検討するなど、民間活力の導入についても検討を進めています。

ご意見・お問合せ＝教育環境整備室（222-3796）、学校統合推進室（371-2009）

<12月の主な予定>

- ～12日 第17回小学校「大文字駅伝」大会支部予選会
- 1日（日）人づくり21世紀委員会東山ふれあいリレーマラソン（9時～12時、洛東中グランド）
- 4日（水）第1回21世紀型教育コンテンツ開発委員会
- 6日（金）第10回道徳教育振興市民会議
- 7日（土）KYOTO 青年元気まつり「大風流2002」（会場：市役所前広場）＊裏面を参照
- 8日（日）人づくり21世紀委員会伏見西人づくり討論会（10時～12時半、伏見板橋小）
- 9日（月）第5回人づくり連続公開講座「3年B組金八先生からのメッセージ」（18時～、右京ふれあい文化会館、講師：小山内美江子〈脚本家〉、当日先着400人）
- 20日（金）第1回教育実践功績表彰
- 21～23日 みらいっこまつり（9時～17時、会場：こどもみらい館、音楽会・劇・おもちゃ遊び等）
- 24日（火）少年合唱団体験入団（事前申込制）
- 26日～2月11日 企画展「京都の学校～二部夜間学級の歩み」（会場：学校歴史博物館、水曜・年末年始休館）

注目

PTAフェスティバル

14日（土）11～16時、国立京都国際会館。園児・児童・生徒による舞台発表、手作りの遊びのコーナー、パープルサンガのサッカー教室、フリーマーケット、模擬店ほか。入場無料。＊識字展も同時に開催します。

若者の熱意とアイデアが結集 「大風流 2002 開催」

12月7日（土）正午から、京都市役所前広場で「和-Japanese Style」をテーマに、京都をこよなく愛する若者の熱意とアイデアを結集した文化創造祭典「大風流（だいふりゅう）」を開催します。4回目を迎える今年は、150名を超える京都の若者たちが、1200年にわたって受け継がれてきた文化を継承すると同時に、京都から世界に向けて、若者らしい斬新な発想で新しい文化を創造・発信していく祭を企画しました。

「和」というテーマでつながった躍動感に満ちた踊りや、空手家が発する打音を効果音としてDJの音楽で舞う^{なぎなた}刀のステージをはじめ、和太鼓とDJの共演など、さまざまな趣向を凝らした演出で会場が一体となって盛り上がります。さらに、若者だけではなく、子どもや高齢者も楽しめる和文化体験ブースのほか、環境への配



慮から、第3回世界水フォーラムへのチャリティー企画まで、幅広く現代社会への貢献を目指す企画も満載し、京都をさらに活気あふれるまちにするため、大風流を通した青年教育事業を推進します。

ご意見・お問合せ＝社会教育課（222-3800）

＜大風流公式ホームページ <http://www.daifuryu.net>＞

子どもカウンセリングセンター企画懇話会からの提言



藤原勝紀座長から提言を受ける
門川大作教育長

子どもカウンセリングセンター（仮称）の事業展開の具体化等に向けて、幅広く検討する企画懇話会が、11月22日、最終の会議を行いました。その具体的成果として、「9つの提言」が作成され、藤原勝紀座長（京都大学大学院教授）や市民公募委員をはじめとする多彩な顔ぶれの懇話会委員から教育長に提出されました。

提言は、「名称の公募」や「相談案内（ガイド）機能の創設」をはじめ、「カウンセリング体制の拡充」、「相談機関ネットワークの構築」、「土日相談体制の整備」、「ボランティアの拡充」、「市民講座の開催」、「教員研修の充実」、「学校相談体制確立の支援」など、新センターの取組の方向性を提示。今後、これを受けより充実した施設づくりを目指し、15年4月上旬の開所へ向けて準備を進めます。

ご意見・お問合せ＝子どもカウンセリングセンター開設準備室（254-7900）

なんばあわん

全小学校に雨水貯蔵タンクを設置 （政令指定都市初）



雨水貯蔵タンクを利用し、花壇に散水する児童たち

京都市では、市立小学校全校をはじめ、中学校・養護学校に今年中に雨水貯蔵タンクを設置する取組を進めています。

これは、京都市を主会場としてアジアで初めて開催される「第3回世界水フォーラム」（平成15年3月16日～23日）を契機に実施。京都の子どもたちが水環境のあり方や水資源の確保などを身近な問題としてとらえることができるよう行うものです。全小学校への設置は政令指定都市で初めてとなります。

タンクの基本仕様は、円筒のステンレス製で500リットルを貯水。学校や地域の特色に応じて、酒樽型等、ユニークな形状のものも導入しています。

設置にあわせ、子どもたちにきめ細かな指導を行うため、小学校の低・中・高学年に応じた指導展開例を作成。これをもとに、学校では、花壇への散水やタンクの水位による降雨量調査などの活動を行っています。

ご意見・お問合せ＝教育環境整備室（222-3791）